

令和7年5月 定例教育委員会 会議録（公開）

1 日 時 令和7年5月28日(水)13:30～

2 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

3 出席者

教育長 : 河井 登志夫

委員 : 藤井 喜臣

委員 : 前田 哲雄

委員 : 中井 英子

〔事務局〕

副教育長：徳高 雄一郎

次長兼教育総務課長：山名 常裕

次長兼学校教育課長：浅見 康陽

次長兼総合教育センター所長：狩野 司

校区審議室長：岡部 孝志

学校保健給食課長：蔵増 彩

文化財課長：佐々木 孝文

生涯学習・スポーツ課長：浜田 哲弘

中央図書館館長：中島 泉

学校教育課参事兼指導係長：福山 暁博

学校教育課参事：平戸 由美

教育総務課長補佐：前田 英樹

〔傍聴者〕 1名

4 会議次第

行事報告及び行事予定について

〔教育総務課〕 P.3

【説明・協議事項】

(1) 6月市議会定例会の附議案等について

〔各課〕 別冊

※説明・協議事項(1)は、鳥取市教育委員会会議規則第14条第1項に基づき、公開しないこととします。

(2) 教育振興基本計画における指標・目標値の実績について

〔各課〕 P.5

(3) 逢坂小学校の浜村小学校への先行編入等について

〔校区審議室〕 P.7

【報告事項】

(1) 民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル校実施について

〔教育総務課〕 P.8

(2) 体験的学習活動等休業日「やってみよう！でー」の実施状況について

〔学校教育課〕 当日配布

- (3) 令和6年度鳥取市立学校教職員の時間外勤務時間等の状況について
〔学校教育課〕P.9
- (4) 子ども考古学教室について
〔文化財課〕P.19
- (5) 令和の万葉大茶会2025 飛鳥・万博大会について
〔文化財課〕P.20
- (6) 鳥取市民体育館ネーミングライツ契約の公募について
〔生涯学習・スポーツ課〕P.21
- (7) 第48回姫路市・鳥取市姉妹都市親善スポーツ交歓大会について
〔生涯学習・スポーツ課〕当日配布
- (8) 令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）について
〔生涯学習・スポーツ課〕P.22

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について
〔6月〕令和7年6月30日（月）13：30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室
〔7月〕令和7年7月28日（月）13：30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第1会議室
- (2) 令和7年度 鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会・研究大会
令和7年7月10日（木）総会14：00 研究大会15：00 ホテルセントパレス倉吉
- (3) 第1回総合教育会議（次期教育振興基本計画などについて）
令和7年8月（予定）

5 会議概要

- 行事報告及び行事予定について
教育総務課長（資料に基づき説明する。）

【説明・協議事項】

- (1) 6月市議会定例会の附議案等について
※説明・協議事項（1）は、鳥取市教育委員会会議規則第14条第1項に基づき、公開しないこととします。
- (2) 教育振興基本計画における指標・目標値の実績について
〔各課〕
各課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(中井委員)

9番について、校区の検討組織を立ち上げた学校が39校中13校ということですか。これはどこの学校でしょうか。いつから組織を作ろうということが始まったのでしょうか。

(校区審議室長)

令和3年に適正規模・適正配置基本方針を策定して、その中で考える会というのを立ち上げています。

(教育総務課長)

指標を作る前から、学校の統廃合を行う際はその地域の声を聞いて反映するというようなことはしておりました。まずは地域の組織を立ち上げて、将来の児童数の推移をお示しして、そこで自分の学校について検討していただくという流れがありました。ただ、そういった方針を設けたのは3年度からになります。

(中井委員)

分かりました。あとでこの13校を教えてください。

(校区審議室長)

分かりました。

(藤井委員)

9番について、この検討組織は去年から1つも増えていないということですね。やや停滞気味ですね。

(教育総務課長)

やや停滞気味です。各地域に行って立ち上げを促してはおりますが、なかなか立ち上げに向かっていかないところがあります。実際立ち上げに協力していただいている地域は、傾向としては特に中山間地域の、やはり目に見えて児童数、生徒数が減っているところです。児童生徒数があまり減ってない学校は、まだ実感がわかないというか、立ち上げに時間がかかりそうなどころはあります。

(藤井委員)

小さな学校が残れば残るほど、先生が不足するという声が結構ありますよね。先生が不足しているのに、小さい学校を残すのはいかななものかという声も結構出ているように思います。難しい問題ですね。

項目代わって、3番の「人の役に立つ人間になりたいと思うか」という質問に、あてはまると回答する児童生徒が7割を切っていますね。どんな選択肢がありますか。あてはまる、あてはまらない、どちらともいえない、でしょうか。

(学校教育課長)

あてはまる、どちらかといえばあてはまる、どちらかといえばあてはまらない、あてはまらない、の4段階です。

(藤井委員)

この7割切っているというのは「どちらかといえばあてはまる」は除かれているのですね。

(学校教育課長)

そうですね、積極的な肯定、「あてはまる」と言い切れる子どもたちだけです。

(藤井委員)

難しい設問ですね。「あてはまる」か、「あてはまらない」かと聞かれたら、あてはまるを選ぶでしょうか。

(学校教育課長)

肯定的に取れば、かなりの割合になると思います。

(藤井委員)

「どちらかといえばあてはまる」がありますね。遠慮がちに答えればこれを選びますよね。

(学校教育課長)

言い切れるくらいの子どもたちを育てたいという思いで、「あてはまる」ということに限定して数字を取っております。

(藤井委員)

教職員のストレスチェックの回答した者の割合は上がってはきていますが、100%にはならないんですね。これは、ストレスチェックの紙を自分でチェックして提出するものですよ。

(学校保健給食課長)

はい。

(藤井委員)

ストレスチェックの紙をチェックして出さなかった人が1割以上ということですよ。

(学校保健給食課長)

そうです。令和2年から12%ほど順調に上がっていますが、まだ回答していただけない方もいらっしゃいますので、年3回ほど啓発をしたり、あまりにも回答率が低い学校には個別にお願いをしたりしているところです。

(藤井委員)

学校によって違いがあるんですね。

(学校保健給食課長)

身体的精神的にもしっかり健全な状態で子供たちに教えていただくために、これからも引き続き声かけをしていきたいと思っております。

(藤井委員)

そうですね。

(校区審議室長)

先ほどの検討組織の件、回答いたします。令和7年度3月末時点で、宝木小、瑞穂小、浜村小、逢坂小、明治小、西郷小、稲葉山小、大正小、世紀小、散岐小、河原第一小、湖南学園、東郷小、以上13校です。

(中井委員)

街中にも遷喬、明德小学校等人数が少ない学校がありますが、再整備に関わるようなところもあるかと思っておりますので、もう少し話し合いが進むといいのかと思っております。対策としては何かありますか。令和3年から4年間で13校、去年からは増えていないということですが。

(校区審議室長)

昨年度も各地域に回らせていただいております。今年度も改めて、地域や学校に回っていかうかと思っております。児童生徒数のデータが出たので、改めてその推計も確認しながら、特に児童生徒が少なくなっているところを中心に回っていきたくと考えています。

(中井委員)

進めていただくようにお願いします。

(前田委員)

20番の地域や社会の事柄に関心をもつ児童生徒の割合は、昔は課題でした。地域の行事には参加するけど関心がないという状態でした。この割合が年々高くなっているのは何か理由があるのでしょうか。

(学校教育課長)

なかなか言い切ることは難しいですが、学校側も「学校は学校、地域は地域」ではなくて、地域の中の子どもたちという意識が高まってきており、地域の活動に参画するような取り組みが年々意識されているように感じます。たとえば、中学生が地元の色々な活動に参加できるよう仕組みでいたり、休日でも地域で活躍するような場を作っていたりとか、そういうことが増えて、だんだん自分たちの地域を良くしたいという思いが高まってきているのではないかと考えております。

(前田委員)

学校運営協議会などが取り入れられて、その成果がこんな形で出ているのでしょうか。地域学校協働活動もかなり熱心にやっているところが出てきたりしていますが、そういったことの相関関係がやはりあるんでしょうね。

(学校教育課長)

そうですね。地域の方も学校運営協議会や地域学校協働活動等で学校に入ってくる場面が増えているので、そういうところで連携が今まで以上に進んでいるのかと感じます。

(前田委員)

先ほどの3番の設問について、ここだけは「あてはまる」という回答だけ取っているのでしょうか。後のところは肯定的な「どちらかといえば」を含めた数になりますが、「どちらかといえばあてはまる」は入っていないのですね。

(学校教育課長)

3番は「あてはまる」と言い切る子どもたちの人数です。後の設問は肯定的な回答で取っています。

(藤井委員)

20番ですが、進捗度はAではないでしょうか。

(学校教育課長)

失礼しました。これはAになります。

(前田委員)

毎回思うことですが、指標の取り方で「どちらかといえば・・・」はなかなか難しいのでしょうか。学校現場でやるときは大概入れないですね。はっきり言い切るような子どもを育てないと、と思います。

(藤井委員)

全国学力・学習状況調査だから、どうしようもないですね。

(前田委員)

数字は出ているのでこちらがどこまで取るかですね。4択で結果は出ているので。大きな計画立てたりするときには、肯定的な評価は全部入れるようになっているが、個人的にはあまり意味がないと感じています。評価するときも流動的ですし、いかがなものかと思ったりします。

(教育総務課長)

今回新たに計画を策定していきますので、そこで指標をどうするかという話が出てくるかと思います。どういった出し方がいいのか検討したいと考えています。

(3) 逢坂小学校の浜村小学校への先行編入等について

[校区審議室]

校区審議室長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(中井委員)

逢坂小学校の児童数少なく、早く統合してほしいということだと思うが、後の3校は令和13年4月からでいいということですか。

(校区審議室長)

先行編入を要望されたのは逢坂小学校だけでございます。要望に基づいて教育委員会でも対応をさせていただいているところです。他の小学校からは今のところ、要望をいただいております。

(中井委員)

統合自体については賛成しておられるんですね。

(校区審議室長)

はい、第3回気高地域全体での準備検討委員会でも反対ということはございませんでした。

(中井委員)

分かりました。

【報告事項】

(1) 民間スイミングスクールを活用した水泳授業のモデル校実施について

教育総務課長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(前田委員)

この3校は利用施設までバスで片道どれくらいかかりますか。

(教育総務課長)

プールまでを約15分以内で行けるところを選定しています。

(前田委員)

用瀬から智頭まで15分で行けるんですね。

(教育総務課長)

はい、智頭の手前の方にありますので。

(前田委員)

往復で30分ですか。

(藤井委員)

教員の負担軽減にはつながるんですよね。

(教育総務課長)

今のスケジュールでは、用瀬小学校であればバスの移動時間が10分、福部未来学園は5分、富桑小学校は10分です。

(前田委員)

毎朝プール水温を測ったり、塩素を入れたり、今はないんでしょうか。色々と自動化されたところが多いんでしょうか。

(教育総務課長)

今もやはり水質管理には時間を取られていますし、プール掃除等の維持管理は学校の先生の負担にもなっています。

(2) 体験的学習活動等休業日「やってみよう!でー」の実施状況について
学校教育課長(資料に基づき説明する。)

【質問】

(藤井委員)

放課後児童クラブの指導員の負担が大きいと書いてありますが、放課後児童クラブの指導員の方の意見というわけではないんですね。

(学校教育課長)

これは匿名で届いたものですが、放課後児童クラブ連合会からもそういう声が届いております。日数が多く、児童クラブの指導員にも子どもを持つ方はおられます。我が子を放っておいて仕事に出ている、もう少し日数が減らないかというような声は連合会からもいただいています。

(藤井委員)

仮に8連休になったときに、8日間とも放課後児童はクラブやっているんですか。

(学校教育課長)

基本的には平日です。

(藤井委員)

後は暦通りですよね。土日は放課後児童クラブは開設していないですか。

(学校教育課長)

土曜日に開設しているところもあります。

(藤井委員)

取組は3年目になりますか。

(学校教育課長)

今年で4年目です。

(藤井委員)

やっっていけばいくほど定着するのかもしれませんがね。こういう意見は必ず出ますよね。

(教育長)

3年目が終わって4年目もこの予定で、次の8年のときも有識者の会議を設けておりますので、方向性をまた共有させていただきたいと思えます。

(前田委員)

有識者の会でラーケーションについての話は出てきていますか。

(学校教育課長)

1回目の会では委員さんの方からはラーケーションの声は出て来ていません。こちらから紹介をしたので、もしかすると2回目で声があがるかもしれません。

(前田委員)

テレビを見ていたら、結構ラーケーションをやっているところがあるようです。そういったこともあわせて検討しているというのは、反対される保護者にも、子どもたちの体験のために色々な方法を模索しているということを感じてもらえるのでは、と思えます。

(学校教育課長)

保護者の中でもラーケーション知っておられる方がいて、そういった取り組みにならないかという意見もあります。

(3) 令和6年度鳥取市立学校教職員の時間外勤務時間等の状況について

学校教育課長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(中井委員)

15ページの下校時間の繰り上げについて、子どもたちの反応はどうでしょうか。40分授業で午前中に5時間授業があるのは大変かと思いました。

(学校教育課長)

子どもによって感じ方は違いますが、意外と子どもはすぐに慣れます。給食が少し後ろ倒しになりますが、教員よりも子どもの方が適応が早いです。

(藤井委員)

子どもたちは早く帰れるんですね。

(学校教育課長)

はい、下校時刻は若干早くなっています。

(前田委員)

15ページのチーム担任制とありますが、先日、美保南についてテレビで見かけました。聞き間違えかもしれませんが、チーム担任制にすると1人の教員の持ちコマ数は減るというようなことを言っていたように思いますが、減るのでしょうか。

(学校教育課長)

美保南は持ちコマ数は減っているようですね。1人の教員で高学年・中学年は大体1週間に5~6時間は空き時間があるようです。

(前田委員)

例えば1人が2クラス見るような時間があるということですかね。

(学校教育課長)

おそらく、級外を学年団に組み込んで、そこで授業時数を割り振ってということだと思います。

(前田委員)

実際に人が増えない限りはどうかのと思ひまして、そういうチーム体制についてよく分かっていないので、また勉強会をしていただけたらありがたいです。

(学校教育課長)

持ちコマ数というより、教科担任制を取り入れ、教科数が減っているというところは大きいかもしれません。もしかしたらそういう意味で、テレビ放送では言っていたのかもしれません。

(4) 子ども考古学教室について

文化財課長 (資料に基づき説明する。)

(5) 令和の万葉大茶会2025 飛鳥・万博大会について

文化財課長 (資料に基づき説明する。)

(6) 鳥取市民体育館ネーミングライツ契約の公募について

生涯学習・スポーツ課長 (資料に基づき説明する。)

(7) 第48回姫路市・鳥取市姉妹都市親善スポーツ交歓大会について

生涯学習・スポーツ課長 (資料に基づき説明する。)

【質問】

(中井委員)

競技は毎回同じ競技でしょうか。

(生涯学習・スポーツ課長)

毎回変わります。昨年、鳥取市で開催したときには、バレーボール、バドミントン、モルックがありました。基本的に幅広いスポーツの競技で、それぞれ団体がいらっしゃるので交流できたらという思いで開催しております。

- (8) 令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）について
生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【その他】

- (1) 次期定例教育委員会の開催について

[6月] 令和7年6月30日(月) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第2会議室

[7月] 令和7年7月28日(月) 13:30～ 鳥取市役所本庁舎7階 第1会議室

- (2) 令和7年度 鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会・研究大会

令和7年7月10日(木) 総会 14:00 研究大会 15:00 ホテルセントパレス倉吉

- (3) 第1回総合教育会議（次期教育振興基本計画などについて）

令和7年8月(予定)

閉会